

平成 22 年度環境技術実証事業検討会ヒートアイランド対策技術分野
(地中熱・下水等を利用したヒートポンプ空調システム)
ワーキンググループ会合 (第 1 回)
議事要旨 (案)

1. 日時：平成 22 年 5 月 12 日 (水) 13:00～15:00
2. 場所：TKP 大手町カンファレンスセンター WEST カンファレンスルーム B
3. 議事
 - (1) ワーキンググループ (WG) 設置について
 - (2) 平成 22 年度 実証試験要領 (案) について
 - (3) 実証機関の公募・選定について
 - (4) 今後の検討スケジュールについて
 - (5) その他
4. 出席検討員：藤井光 (座長)、笹田政克、関根賢太郎、花崎広隆、藤谷泰裕
欠席検討員：足永靖信、大岡龍三
5. 配付資料
 - 資料 1 平成 21 年度環境技術実証事業検討会 ヒートアイランド対策技術分野 (オフィス、住宅等から発生する人工排熱低減技術) 地中熱・下水等を利用したヒートポンプ空調システム ワーキンググループ会合 (第 3 回) 議事要旨
 - 資料 2 平成 22 年度環境技術実証事業 ヒートアイランド対策技術分野 (地中熱・下水等を利用したヒートポンプ空調システム) ワーキンググループ設置要綱
 - 資料 3 平成 22 年度 実証試験要領 (案)
 - 資料 4 ヒートアイランド対策技術分野 (地中熱・下水等を利用したヒートポンプ空調システム) における実証機関選定の考え方について (案)
 - 資料 5 実証機関の募集における申請書類について (案)
 - 資料 6 今後の検討スケジュールについて (予定)

参考資料 平成 22 年度 環境技術実証事業実施要領

6. 議事
会議は公開で行われた

- (1) ワーキンググループ (WG) 設置について
 - ・ 事務局より資料 1、2 に基づきワーキンググループ (WG) 設置について説明。
 - ・ 実証運営機関が、WG を含めて全体の検討を進める。手数料徴収体制となること以外は、事業の仕組みは大きな違いはない。

- (2) 平成 22 年度 実証試験要領 (案) について
 - ・ 環境省より、参考資料に基づき平成 22 年度 環境技術実証事業実施要領について説明。
 - ・ 事務局より、資料 3 に基づき平成 22 年度 実証試験要領 (案) について説明。
 - ・ 当事業で得られたデータをより広い枠組みで積極的に活用し、当技術分野の社会に対する有益性を示していく措置が必要ではないかとの意見があった。
 - ・ 実証単位(A)の実証項目に関して、室内機を含めないシステムエネルギー効率を必須とし、室内機を含めたシステムエネルギー効率は任意とするべきであるとの意見があった。
 - ・ 地下水熱、下水熱等を利用したシステムや、その他の構成、形状のシステムに関する実証方法に関しても、言及を加えていくべきとの意見があった。

- (3) 実証機関の公募・選定について
 - ・ 事務局より、資料 4、資料 5 に基づき、実証機関の公募・選定についてについて説明。

- (4) 今後のスケジュールに関して
 - ・ 事務局より、資料 6 に基づき、今後の検討スケジュールについて説明。

- (5) その他
 - ・ 特になし。

(文責：環境省水・大気環境局環境管理技術室 速報のため事後修正の可能性あり)